

3. 技術スタック

3.1 確定した技術構成

レイヤー	技術
Frontend	React (Vite)
Backend	FastAPI (Python)
Database	PostgreSQL (RDS)
ストレージ	S3 (音声/動画)
インフラ	EC2 (Amazon Linux 2023), ALB, CloudFront
キャッシュ	ElastiCache (Redis)
AI/API	OpenAI GPT-4o, Google Cloud STT, HeyGen

3.2 技術選定理由

FastAPI (Python) を選定した理由

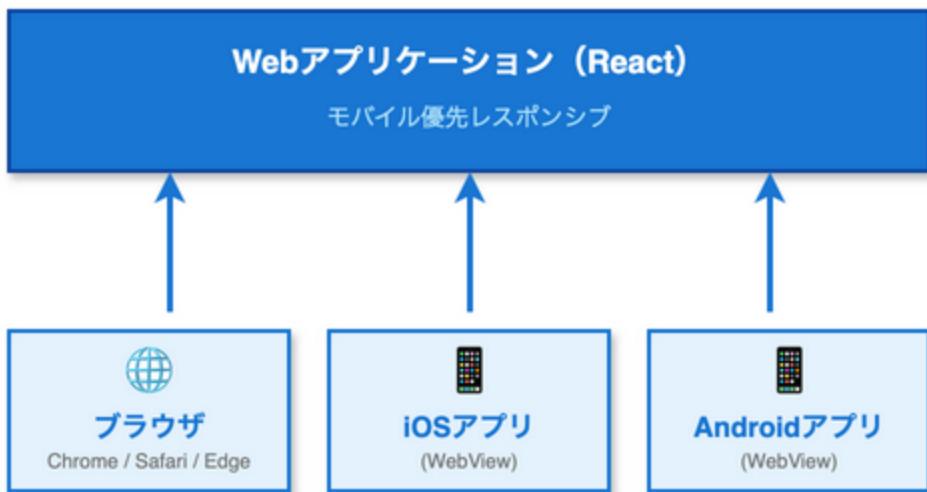
- OpenAI、Google Cloud STT/TTSとの連携ライブラリが豊富
- 音声解析ライブラリ（librosa, pydub等）が充実
- LangChainなどのAI/MLツールが成熟
- 非同期処理に強い

Amazon Linux 2023 を選定した理由

- AWS環境に最適化
- 長期サポート
- 軽量でパフォーマンスが良い

3.3 対応プラットフォーム

3.3.1 アーキテクチャ



同一のReact WebアプリケーションをすべてのプラットフォームでWebView表示

3.3.2 ユーザー向け

プラットフォーム	対応	実装方式
Webブラウザ（モバイル）	○	React（モバイル優先 375px～）
Webブラウザ（PC）	○	React（タブレット/デスクトップ対応）
iOSアプリ	○	WebView（同一Webアプリを表示）
Androidアプリ	○	WebView（同一Webアプリを表示）

3.3.3 管理者向け

プラットフォーム	対応	実装方式
Webブラウザ（PC）	○	React（デスクトップ優先 1024px～）
Webブラウザ（タブレット）	○	React（768px～）
モバイル	×	不可

3.3.4 WebViewアプリの認証フロー

項目	内容
シームレス遷移	外部システムからURLスキーム/Universal Linkで起動
URL例	aiinterview://open?token=xxx または https://app.example.com/auth?token=xxx
トークン保存	WebView内のCookie/LocalStorage
自動ログイン	保存済みセッションが有効な場合、直接ホームへ